

令和4年度標茶町上水道事業会計決算審査意見

第1 審査の概要

1 審査の対象

令和4年度標茶町上水道事業会計決算

2 審査の期日

令和5年6月22日

3 審査の書類

- (1) 決算報告書
- (2) 財務諸表
 - ア 損益計算書
 - イ 剰余金計算書
 - ウ 剰余金処分計算書
 - エ 貸借対照表
- (3) 附属書類
 - ア 事業報告書
 - イ キャッシュ・フロー計算書
 - ウ 収益費用明細書
 - エ 固定資産明細書
 - オ 企業債明細書
 - カ 一般会計借入金明細書

4 審査の方法

審査にあたっては、送付を受けた決算報告書、財務諸表及び事業報告書等の附属書類について、関係諸帳簿の照合とともに、関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績並びに財政状態が適正に表示されているか否か、予算執行の適否等についても内容説明を求め審査を実施した。

第2 審査の結果

審査に付された決算書、財務諸表等は、関係法令に準拠して作成されており、決算の諸計数はいずれも正確であるとともに、令和5年3月31日現在における財政状況及び経営成績が適正に表示されているものと認められた。

財務事務については、総体として適正に執行されたものと認められる。

審査結果の概要は以下のとおりである。

1 予算執行状況

予算執行状況及び給水収益の収納状況は別表1～3のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出について

別表1

(単位：円・%)

区分	予算額	決算額	執行率		予算額に比ベ決算額の増減・不用額	
			R 4年度	R 3年度		
収入	営業収益	80,497,000	(76,316,390) 69,995,936	(94.8) 87.0	(94.5) 86.6	(4,180,610) 10,501,064
	給水収益	71,217,000	(69,524,990) 63,204,536	(97.6) 88.7	(97.3) 88.5	(1,692,010) 8,012,464
	受託工事収益	2,550,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(2,550,000) 2,550,000
	一般会計負担金	6,446,000	(6,446,000) 6,446,000	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(0) 0
	その他営業収益	284,000	(345,400) 345,400	(121.6) 121.6	(91.9) 91.9	(△ 61,400) △ 61,400
	営業外収益	10,919,000	(10,875,570) 10,801,372	(99.6) 98.9	(99.6) 98.9	(43,430) 117,628
	受取利息及び配当金	10,000	(200) 200	(2.0) 2.0	(2.0) 2.0	(9,800) 9,800
	他会計負担金	6,149,000	(6,149,000) 6,149,000	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(0) 0
	長期前受金戻入	3,911,000	(3,910,014) 3,910,014	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(986) 986
	雑収益	849,000	(816,356) 742,158	(96.2) 87.4	(95.9) 87.2	(32,644) 106,842
収入合計	91,416,000	(87,191,960) 80,797,308	(95.4) 88.4	(95.1) 88.0	(4,224,040) 10,618,692	
支出	営業費用	81,448,000	(68,766,327) 66,650,956	(84.4) 81.8	(88.3) 86.2	(12,681,673) 14,797,044
	配水及び給水費	46,044,000	(35,913,513) 33,798,142	(78.0) 73.4	(83.7) 79.6	(10,130,487) 12,245,858
	受託工事費	2,550,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(2,550,000) 2,550,000
	減価償却費	31,866,000	(31,865,109) 31,865,109	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(891) 891
	資産減耗費	988,000	(987,705) 987,705	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(295) 295
	営業外費用	7,368,000	(6,457,245) 4,278,145	(87.6) 58.1	(88.5) 62.4	(910,755) 3,089,855
	支払利息及び企業債取扱諸費	4,473,000	(4,278,145) 4,278,145	(95.6) 95.6	(95.1) 95.1	(194,855) 194,855
	消費税及び地方消費税	2,845,000	(2,179,100) 0	(76.6) 0.0	(77.5) 0.0	(665,900) 2,845,000
	雑支出	50,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(50,000) 50,000
	特別損失	0	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0) 0
予備費	500,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(500,000) 500,000	
支出合計	89,316,000	(75,223,572) 70,929,101	(84.2) 79.4	(87.9) 83.7	(14,092,428) 18,386,899	
(差引額) 当年度純利益		(11,968,388) 9,868,207				

〈注〉上段()内の数値並びに割合は消費税込の金額

水道事業収益87,191,960円、予算額91,416,000円に対し4,224,040円の減、執行率95.4%となっている。主な内訳は、給水収益69,524,990円、予算額71,217,000円に対し1,692,010円の減、執行率97.6%。受託工事収益は受託工事費の執行はなく執行率0%となっている。

水道事業費用(予備費含む)75,223,572円、予算額89,316,000円に対し不用額14,092,428円、執行率84.2%となっている。主な内訳は、配水及び給水費35,913,513円、予算額46,044,000円に対し不用額10,130,487円、執行率78.0%。受託工事費の執行はなく不用額2,550,000円、執行率0%。減価償却費及び資産減耗費32,852,814円、予算額32,854,000円に対し不用額1,186円、執行率100.0%。支払利息及び企業債取扱諸費4,278,145円、予算額4,473,000円に対し不用額194,855円、執行率95.6%。また、予備費の執行はなく不用額500,000円となっている。

以上の結果、執行額で水道事業収益が水道事業費用を11,968,388円上回っている。

また、水道事業収益の79.7%を占める水道料金(給水収益)の収納状況は次の別表2のとおりとなっている。

(水道料金の収納状況)

別表 2

(単位：円・件・%)

区分	令和4年度					令和3年度		対前年度増減		
	調定額	収納額	収納率	不納 欠損額	未収状況		未収状況			
					件数	金額	件数	金額	件数	金額
現年度分	69,524,990	68,831,890	99.0	0	289	693,100	248	585,810	41	107,290
過年度分	4,820,062	921,350	19.1	0	1,462	3,898,712	1,618	4,234,252	△ 156	△ 335,540
合計	74,345,052	69,753,240	93.8	0	1,751	4,591,812	1,866	4,820,062	△ 115	△ 228,250

(金額には消費税が含まれている)

現年度分調定額69,524,990円、収納済額68,831,890円、差引き収納未済額693,100円、収納率99.0%で前年度と比べ0.2%減少している。

過年度分調定額4,820,062円、収納済額921,350円、差引き収納未済額3,898,712円、収納率19.1%。当年度末の現年度及び過年度収納未済額合計4,591,812円となっている。

なお、処分状況として、20日前通告29件、10日前通告19件、決定通告19件、処分保留11件、8件の停水処分を行っている。

(2) 資本的収入及び支出について

別表 3

(単位：円・%)

区分		予算額	決算額	執行率		予算額に比べ決算額の増減及び不用額
				R 4年度	R 3年度	
収入	企業債	11,000,000	(11,000,000)	(100.0)	(100.0)	(0)
			11,000,000	100.0	100.0	0
資本的収入合計		11,000,000	(11,000,000)	(100.0)	(100.0)	(0)
			11,000,000	100.0	100.0	0
支出	企業債等償還金	23,736,000	(23,735,863)	(100.0)	(100.0)	(137)
			23,735,863	100.0	100.0	137
	建設改良費	23,100,000	(23,100,000)	(100.0)	(100.0)	(0)
			21,000,000	90.9	90.9	2,100,000
資本的支出合計		46,836,000	(46,835,863)	(100.0)	(100.0)	(137)
			44,735,863	95.5	94.9	2,100,137
差引額			(△ 35,835,863)			
			△ 33,735,863			

〈注〉上段()内の数値並びに割合は消費税込みで表示

資本的収入11,000,000円、予算額同額、執行率は100.0%で配水管整備事業の企業債となっている。なお、資本的収入の企業債で2,700,000円が減額補正されている。

資本的支出46,835,863円、予算額46,836,000円に対し不用額137円、執行率100.0%となっている。内訳は、企業債等償還金23,735,863円、予算額23,736,000円に対し不用額137円、執行率100.0%。建設改良費23,100,000円、予算額23,100,000円に対し不用額0円、執行率100.0%となっている。なお、資本的支出の建設改良費で4,972,000円が減額補正されている。

また、資本的収入が資本的支出に不足する額35,835,863円は、減債積立金処分数額6,291,476円、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,100,000円、過年度分損益勘定留保資金27,444,387円で補てんされている。

(3) その他の予算事項について

地方公営企業法施行令第17条第1項に規定する予算に係る主な事項の執行状況は次のとおりである。

ア 企業債

企業債の発行額11,000,000円(収入率100.0%)となっており、目的、限度額、起債の方法、利率及び償還方法は、予算に定められた範囲で執行されている。

イ 議会の議決を経なければ流用することができない経費

職員給与費12,423,014円(執行率75.6%)、交際費は0円(執行率0.0%)で、い

ずれも予算の範囲内で執行されている。

ウ 他会計からの負担金

一般会計負担金6,446,000円（収入率100.0%）、下水道事業特別会計負担金（減価償却費分）6,149,000円（執行率は100.0%）で、合計12,595,000円は、いずれも予算の範囲内で収入されている。

2 経営成績

一営業期間においてどのくらい収益を得たか、また、どのようにして収益を得たか、企業の収益力を示すものとして、以下、損益計算書をはじめとする決算関係資料に基づく記述・図表のとおりとなっている。

金額は消費税及び地方消費税抜き、指数・指標の算出もこれによる。

(1) 主要な利益指標の推移について

別表4

(単位：円・%)

区分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
総収益	80,797,308	81,071,887	81,934,336	81,853,122	80,567,289
うち営業収益	69,995,936	70,403,945	71,308,173	71,563,845	70,355,488
総費用	70,929,101	74,780,411	73,154,403	72,503,802	73,221,304
うち営業費用	66,650,956	70,083,402	67,828,799	66,460,126	66,469,083
当年度純利益	9,868,207	6,291,476	8,779,933	9,349,320	7,345,985
前年度繰越利益剰余金	0	0	0	0	0
当年度未処分利益剰余金	9,868,207	6,291,476	8,779,933	9,349,320	7,345,985
経常収支比率	113.9	108.4	112.0	112.9	110.0
営業収支比率	105.0	100.5	105.1	107.7	105.8
総資本利益率	2.6	1.7	2.4	2.6	2.1

- <注> 1. 経常収支比率＝経常収益（総収益）／経常費用（総費用）
 2. 営業収支比率＝（営業収益－受託工事収益）／（営業費用－受託工事費）
 3. 総資本利益率＝当年度純利益／（期首総資本＋期末総資本）／2

水道事業収益80,797,308円、前年度81,071,887円と比較し274,579円（0.3%）減少。水道事業費用70,929,101円、前年度74,780,411円と比較し3,851,310円（5.2%）減少となっている。水道事業収益が水道事業費用を上回った額9,868,207円は当期純利益として計上し、前年度純利益6,291,476円と比較し3,576,731円（56.9%）増加している。

経常収支比率113.9%は、水道事業費用に対し水道事業収益がどの程度賄われているかを経営が示す指標である。

営業収支比率105.0%は、営業費用に対し営業収益がどの程度賄われているかを示す指標で、経営が営業収益により充足されている形となっている。

なお、水道事業収益並びに水道事業費用の内訳は次の別表5並びに別表6のとおりとなっている。

(収益の内訳)

別表 5

(単位：円・%)

区分	令和4年度 (A)		令和3年度 (B)		差引 (A) - (B)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年比
営業収益	69,995,936	86.6	70,403,945	86.8	△ 408,009	99.4
給水収益	63,204,536	78.2	63,898,045	78.8	△ 693,509	98.9
受託工事収益	0	0.0	0	0.0	0	0.0
一般会計負担金	6,446,000	8.0	6,245,000	7.7	201,000	103.2
その他営業収益	345,400	0.4	260,900	0.3	84,500	132.4
営業外収益	10,801,372	13.4	10,667,942	13.2	133,430	101.3
受取利息及び配当金	200	0.0	200	0.0	0	100.0
他会計負担金	6,149,000	7.7	6,000,000	7.5	149,000	102.5
長期前受金戻入	3,910,014	4.8	3,924,744	4.8	△ 14,730	99.6
雑収益	742,158	0.9	742,998	0.9	△ 840	99.9
総収益	80,797,308	100.0	81,071,887	100.0	△ 274,579	99.7

(金額は消費税抜き)

営業収益は、給水収益63,204,536円で前年度63,898,045円と比較し693,509円(1.1%)減少、受託工事収益は受託工事がなかったため、今年度も前年度同額0円となっている。一般会計負担金6,446,000円、前年度6,245,000円と比較し201,000円(3.2%)増加となっている。

営業外収益は、他会計負担金6,149,000円、前年度6,000,000円と比較し149,000円(2.5%)増加している。また、雑収益は742,158円で前年度742,998円と比較し840円(0.1%)減少している。

(費用の内訳)

別表 6

(単位：円・%)

区分	令和4年度 (A)		令和3年度 (B)		差引 (A) - (B)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年比
営業費用	66,650,956	94.0	70,083,402	93.7	△ 3,432,446	95.1
配水及び給水費	33,798,142	47.7	33,786,065	45.1	12,077	100.0
受託工事費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
減価償却費	31,865,109	44.9	34,162,159	45.7	△ 2,297,050	93.3
資産減耗費	987,705	1.4	2,135,178	2.9	△ 1,147,473	46.3
営業外費用	4,278,145	6.0	4,697,009	6.3	△ 418,864	91.1
支払利息及び企業債取扱諸費	4,278,145	6.0	4,697,009	6.3	△ 418,864	91.1
雑支出	0	0.0	0	0.0	0	0.0
特別損失	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他特別損失	0	0.0	0	0.0	0	0.0
総費用	70,929,101	100.0	74,780,411	100.0	△ 3,851,310	94.8

(金額は消費税抜き)

営業費用は、配水及び給水費33,798,142円で前年度33,786,065円と比較し12,077円(0.0%)増加している。また、減価償却費と資産減耗費32,852,814円で前年度36,297,337円と比較し3,444,523円(9.5%)減少している。

営業外費用は、支払利息及び企業債取扱諸費4,278,145円、前年度4,697,009円と比較し418,864円(8.9%)減少となっている。

(2) 配水量及び有収水量について

別表 7

(単位：m³・%)

区分	総配水量 (A)	減少要因		配水量 (D) = A - B - C	不明水量 (E) = D - F	有収水量 (F) = D - E	有収率 F / D
		消防使用 量 (B)	漏水認定 量 (C)				
令和4年度	461,766	809	956	460,001	65,436	394,565	85.8
令和3年度	462,396	847	881	460,668	58,848	401,820	87.2
対前年度	△ 630	△ 38	75	△ 667	6,588	△ 7,255	△ 1.4

配水量460,001m³、前年度460,668m³と比較し667m³ (0.1%) 減少し、有収水量は394,565m³、前年度401,820m³と比較し7,255m³ (1.8%) 減少している。配水量に対し有収率は85.8%、前年度87.2%と比較して1.4ポイント下降している。

(3) 給水人口と給水原価並びに供給単価の推移について

別表 8

区分	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	差引 (A) - (B)	令和2年度	令和元年度
計画人口/人	5,020	5,020	0	5,020	5,020
給水戸数/戸	2,171	2,175	△ 4	2,195	2,199
給水人口/人	4,115	4,085	30	4,166	4,255
年間配水量/m ³	460,001	460,668	△ 667	472,611	469,873
年間有収水量/m ³	394,565	401,820	△ 7,255	414,237	411,126
給水収益/円	63,204,536	63,898,045	△ 693,509	65,464,573	65,403,845
ア 給水原価	169円86銭	176円34銭	△6円48銭	166円47銭	165円18銭
イ 供給単価	160円19銭	159円02銭	1円17銭	158円04銭	159円09銭
差額 アイ	9円67銭	17円32銭	△7円65銭	8円43銭	6円09銭

- <注> 1. 給水原価 = (総費用 - 受託工事費 - 長期前受金戻入) / 有収水量
2. 供給単価 = 給水収益 / 有収水量

給水人口4,115人、前年度4,085人と比較し30人 (0.7%) 増加。給水戸数2,171戸、前年度2,175戸と比較し4戸 (0.2%) 減少している。

次に、有収水量を基準とする経営指標として、給水原価は169円86銭、前年度176円34銭と比較し6円48銭 (3.7%) 減少し、供給単価は160円19銭、前年度159円02銭と比較し1円17銭 (0.7%) 増加となっている。

給水原価と供給単価の差額は9円67銭、前年度17円32銭と比較し7円65銭 (44.2%) 減少している。

3 財政状況

本年度の財政状況を貸借対照表及び資料に基づき示すと次のとおりである。(記述の数値は消費税抜きで表示)

<資産>

資産合計は、817,437,614円で前年度末 (824,637,067円) より7,199,453円の減少となっている。

固定資産は590,134,568円で、前年度 (601,987,382円) に対し11,852,814円減少している。内訳は、有形固定資産が589,665,703円で前年度 (601,485,028円) より11,819,325円減少し、無形固定資産が468,865円で前年度 (502,354円) より33,489円減少している。

流動資産は227,303,046円で、前年度 (222,649,685円) に比し4,653,361円増加している。内訳は、現金・預金が222,711,234円で前年度 (217,829,623円) に比し4,881,611円増加し、

未収金は水道料金4,591,812円で、前年度（4,820,062円）より228,250円減少している。

<負債>

負債合計は、431,696,014円で前年度（448,763,674円）に比し17,067,660円の減少となっている。

内訳は、固定負債は企業債が154,027,387円で前年度（153,463,532円）より563,855円増加、一般会計借入金89,810,000円で前年度（102,640,000円）より12,830,000円減少し、修繕引当金が30,197,341円で前年度と同額になっている。

流動負債は一時借入金0円で前年度と同額、企業債が10,436,145円で前年度（10,905,863円）より469,718円減少し、一般会計借入金12,830,000円で前年度同額、未払金が2,358,200円で前年度（2,281,400円）より76,800円増加し、前受金が296,610円で前年度（358,750円）より62,140円減少し、引当金は820,000円で前年度（1,257,000円）より437,000円減少し、その他流動負債が13,250円で前年度（12,693円）より557円増加している。

繰延収益は長期前受金が前年度同額170,566,001円、長期前受金収益化累計額が39,658,920円で前年度（35,748,906円）より3,910,014円増加している。

<資本金>

資本金合計は、363,873,393円で前年度（357,581,917円）に比し6,291,476円の増加となっている。

<剰余金>

剰余金合計は、利益剰余金21,868,207円で前年度（18,291,476円）に比し3,576,731円の増加となっている。

むすび

以上、令和4年度上水道事業会計における予算執行、経営成績、財政状況にわたる金額及び指数等の表示と所見を述べてきたが、総括として次の通り審査意見を述べます。

令和4年度上水道事業は、生活用水その他の浄水を町民に提供するため、給水戸数2,171戸（前年度2,175戸）で前年度より4戸減少し、年間有収水量394,565^m（前年度401,820^m）より7,255^m減少、年間配水量460,001^m（前年度460,668^m）より667^m減少した水需要構成の状況で運営され、配水管総延長は51.0km（導水管1.2km 配水管49.8km）となった。

本事業会計に属する専任職員は、令和5年3月31日現在1名である。

経営成績は、総収益80,797,308円、総費用は70,929,101円の決算額で差引き9,868,207円（前年度6,291,476円）の純利益を生じ減債積立金として処分された。

財務状況は、資産合計817,437,614円で、前年度と比較して7,199,453円の減少となっている。

資金的収支は総額46,835,863円執行されており、この資金は企業債の発行で11,000,000円を調達し、不足する35,835,863円は、過年度分損益勘定留保資金27,444,387円、減債積立金6,291,476円、当年度分消費税及び地方消費税資金的収支調整額2,100,000円で補てんされている。

水道料金の未収金については、現年度分、滞納繰越分それぞれについて収納対策の効果がみられ、当年度は4,591,812円で前年度より228,250円減少しているものの、今後も更なる収納対策に努力をされたい。

また、有収率が85.8%（前年度87.2%）であり、今後も引き続き不明漏水の解決に向けての努力を望む。

上水道事業経営は、給水人口の影響が大きく、今後も人口の減少や節水意識の高まりなどから、給水収益は年々減少するものと予測されるが、経費節減などの経営努力により収支のバランスが保たれ現行料金を保持することと、良質な水道水の安全かつ安定的な供給のため、引き続き、的確な水需要の予測、料金の収納対策、効果的な事業の執行による健全な経営、財政基盤の安定を図るとともに、公営企業として住民生活及び生産活動などの公共の福祉の増進が図られるよう努められたい。

資料 1

標茶町上水道事業貸借対照表比較

(単位 税抜円、%)

款 項	令和4年度		令和3年度		差 引		備 考
	(A)		(A)		(A) - (B)		
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年度比	
1 固定資産	590,134,568	72.2	601,987,382	73.0	△ 11,852,814	98.0	
(1) 土地	931,672	0.1	931,672	0.1	0	100.0	
(2) 構築物	477,387,052	58.2	482,506,148	58.2	△ 5,119,096	98.9	
(3) 機械及び装置	110,949,799	13.6	117,512,148	14.4	△ 6,562,349	94.4	
(4) 車両運搬具	145,000	0.1	145,000	0.1	0	100.0	
(5) 工具・器具及び備品	252,180	0.1	390,060	0.1	△ 137,880	64.7	
(6) 施設利用権	468,865	0.1	502,354	0.1	△ 33,489	93.3	
2 流動資産	227,303,046	27.8	222,649,685	27.0	4,653,361	102.1	
(1) 現金・預金	222,711,234	27.2	217,829,623	26.4	4,881,611	102.2	
(2) 未収金	4,591,812	0.6	4,820,062	0.6	△ 228,250	95.3	
(3) 貸倒引当金	0	0.0	0	0.0	0	-	注記①
資産合計(1+2)	817,437,614	100.0	824,637,067	100.0	△ 7,199,453	99.1	
3 固定負債	274,034,728	33.4	286,300,873	34.5	△ 12,266,145	95.7	
(1) 企業債	154,027,387	18.7	153,463,532	18.2	563,855		注記②-1
(2) 一般会計借入金	89,810,000	11.0	102,640,000	12.6	△ 12,830,000		注記②-2
(3) 修繕引当金	30,197,341	3.7	30,197,341	3.7	0	100.0	
4 流動負債	26,754,205	3.3	27,645,706	3.4	△ 891,501	96.8	
(1) 一時借入金	0	0.0	0	0.0	0		
(2) 企業債	10,436,145	1.3	10,905,863	1.3	△ 469,718		注記③-1
(3) 一般会計借入金	12,830,000	1.5	12,830,000	1.5	0		注記③-2
(4) 未払金	2,358,200	0.3	2,281,400	0.3	76,800	103.4	
(5) 前受金	296,610	0.0	358,750	0.0	△ 62,140	82.7	
(6) 引当金	820,000	0.1	1,257,000	0.2	△ 437,000		注記④
(7) その他流動負債	13,250	0.1	12,693	0.1	557	104.4	注記⑤
5 繰延収益	130,907,081	16.1	134,817,095	16.5	△ 3,910,014		
(1) 長期前受金	130,907,081	16.1	134,817,095	16.5	△ 3,910,014		注記⑥
負債合計(3+4+5)	431,696,014	52.8	448,763,674	54.4	△ 17,067,660	96.2	
6 資本金	363,873,393	44.5	357,581,917	43.4	6,291,476	101.8	
(1) 資本金	363,873,393	44.5	357,581,917	43.4	6,291,476		
7 剰余金	21,868,207	2.7	18,291,476	2.2	3,576,731	119.6	
(1) 利益剰余金	21,868,207	2.7	18,291,476	2.2	3,576,731	119.6	
資本合計(6+7)	385,741,600	47.2	375,873,393	45.6	9,868,207	102.6	
負債資本合計	817,437,614	100.0	824,637,067	100.0	△ 7,199,453	99.1	

注記① 未収金の回収不能評価の計上(ルール計上)

注記② 1年を超えて償還される企業債等の計上

注記③ 1年以内に償還される企業債等の計上(1年基準)

注記④ 職員期末勤勉手当等の支払いに備え、当年度の勤務に起因する翌年度支払額の計上

注記⑤ 預り金(職員費各種負担金・所得税外)

注記⑥ 補助金等で取得した固定資産の収益化費用現在価額

上水道事業経営管理指標

資料2

(単位 千円、%)

NO	項 目	積 算 基 礎	4 年 度		3 年 度		対前年比	備 考
			数 値	指 標	数 値	指 標		
1	経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	$\frac{80,797}{70,929} \times 100$	113.9	$\frac{81,072}{74,780} \times 100$	108.4	105.1	
2	営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費}} \times 100$	$\frac{69,996}{66,651} \times 100$	105.0	$\frac{70,404}{70,083} \times 100$	100.5	104.5	
3	総資本利益率	$\frac{\text{当年度純利益}}{(\text{期首総資本}+\text{期末総資本})/2} \times 100$	$\frac{9,868}{380,807} \times 100$	2.6	$\frac{6,292}{372,728} \times 100$	1.7	152.9	
4	企業債償還額 対減価償却額比率	$\frac{\text{企業債償還金}}{\text{当年度減価償却額}} \times 100$	$\frac{10,906}{31,865} \times 100$	34.2	$\frac{11,415}{34,162} \times 100$	33.4	102.4	
5	固定資産回転率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産})/2} \times 100$	$\frac{69,996}{596,061} \times 100$	11.7	$\frac{70,404}{606,304} \times 100$	11.6	100.9	
6	料対 金す 収る 入比 に率	企業債償還額 対料金収入	$\frac{10,906}{63,205} \times 100$	17.3	$\frac{11,415}{63,898} \times 100$	17.9	96.6	
7		企業債償還利息 対料金収入	$\frac{4,278}{63,205} \times 100$	6.8	$\frac{4,697}{63,898} \times 100$	7.4	91.9	
8		職員給与費 対料金収入	$\frac{12,423}{63,205} \times 100$	19.7	$\frac{16,259}{63,898} \times 100$	25.4	77.6	
9	有収率	$\frac{\text{年間有収水量 (m}^3\text{)}}{\text{年間配水量 (m}^3\text{)}} \times 100$	$\frac{394,565}{460,001} \times 100$	85.8	$\frac{401,820}{460,668} \times 100$	87.2	98.4	
10	施設利用率	$\frac{\text{1日平均配水量 (m}^3\text{)}}{\text{1日配水能力 (m}^3\text{)}} \times 100$	$\frac{1,260}{1,920} \times 100$	65.6	$\frac{1,262}{1,920} \times 100$	65.7	99.8	
11	配水管使用効率	$\frac{\text{年間配水量 (m}^3\text{)}}{\text{導配水管延長 (m)}} \times 100$	$\frac{460,001}{51,021} \times 100$	9.0	$\frac{460,668}{51,011} \times 100$	9.0	100.0	
12	供給単価	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間有収水量 (m}^3\text{)}}$	$\frac{63,205}{394,565}$	160.19	$\frac{63,898}{401,820}$	159.02	100.7	
13	給水原価	$\frac{\text{総費用}-\text{受託工事費}-\text{長期前受金戻入}}{\text{年間有収水量 (m}^3\text{)}}$	$\frac{67,019}{394,565}$	169.86	$\frac{70,856}{401,820}$	176.34	96.3	
14	職員1人当り給水人口	$\frac{\text{給水人口 (人)}}{\text{職員数 (人)}}$	$\frac{4,115}{2}$	2,058	$\frac{4,085}{2}$	2,043	100.7	
15	職員1人当り給水量	$\frac{\text{年間有収水量 (m}^3\text{)}}{\text{職員数 (人)}}$	$\frac{394,565}{2}$	197,283	$\frac{401,820}{2}$	200,910	98.2	
16	職員1人当り営業収益	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{職員数 (人)}}$	$\frac{69,996}{2}$	34,998	$\frac{70,404}{2}$	35,202	99.4	